

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4071401188		
法人名	医療法人 康整会		
事業所名	グループホーム ツーハーツ (そよかぜ)		
所在地	福岡市早良区次郎丸5-18-28		
自己評価作成日	令和6年11月19日	評価結果確定日	令和7年1月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アール・ツーエス		
所在地	福岡県福岡市南区井尻 4-2-1 関ビル1F	TEL:092-589-5680	HP:http://www.r2s.co.jp
訪問調査日	令和6年12月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】(Altキー+enterで改行出来ます)

<p>母体の医療機関との連携を図り、各ユニットに看護師を配置し日々の健康管理や体調の変化の把握・終末ケアの対応を行っている。 他医療機関との連携もあり、緊急時の対応も行っている。 おひとりおひとりに寄り添い、利用者・ご家族にとって安心出来る場所を提供できるよう心掛けている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>同一敷地内外に母体となる医療機関や介護付有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、通所介護や通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所、訪問介護、訪問看護の介護保険サービス等を複合的に提供している。福岡市地下鉄や福岡市都市高速道路にも程近い。医療機関が母体であり、在宅酸素療法や吸引、水分補給を目的とした点滴等の必要な医療が受けられる体制である。また、昼夜問わず看護師が対応できる体制であり、看取り介護を積極的に実施している。看取りに関する研修も実施し、医療面での支援が必要な利用者でも積極的に対応している。地域の医療や介護を総合的に対応する事が出来る事業所である。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	66	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
61	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	68	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
62	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
64	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:30)		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4071401188		
法人名	医療法人 康整会		
事業所名	グループホーム ツーハーツ (せせらぎ)		
所在地	福岡市早良区次郎丸5-18-28		
自己評価作成日	令和6年11月19日	評価結果確定日	令和7年1月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】(Altキー+enterで改行出来ます)

地域に密着した母体の医療機関と連携を図り、日々の健康管理を行っている
各ユニットに看護師を配置し、体調の変化を把握し対応している
穏やかに過ごして頂けるよう、ご家族にとって安心できる場所でありたいと心掛けている

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

そよかぜと同様

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アール・ツーエス		
所在地	福岡県福岡市南区井尻4-2-1 関ビル1F	TEL:092-589-5680	HP:http://www.r2s.co.jp
訪問調査日	令和6年12月20日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
58 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	65 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
61 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:30)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4071401188		
法人名	医療法人 康整会		
事業所名	グループホーム ツーハーツ (こもれび)		
所在地	福岡市早良区次郎丸5-18-28		
自己評価作成日	令和6年11月19日	評価結果確定日	令和7年1月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アール・ツーエス		
所在地	福岡県福岡市南区井尻 4-2-1 関ビル1F	TEL:092-589-5680	HP:http://www.r2s.co.jp
訪問調査日	令和6年12月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】(Altキー+enterで改行出来ます)

母体の医療機関や他協力医療機関と連携を図り、各ユニットに看護師を配置し日々の健康管理から終末ケアまで対応し、利用者様・利用者家族様にとって安心して何でも話せる場所であるよう心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

そよかせと同様

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	66	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
61	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	68	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
62	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
64	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30)		

自己評価および外部評価結果		自己評価			外部評価		
自己	外部	項目	実践状況(そよかぜ)	実践状況(せせらぎ)	実践状況(こもれび)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	名札に理念を記載したカードを入れ携行、詰所の壁に理念を記載した用紙を貼り、いつでも確認できるようにしている 理念に基づいたケアの実践を心掛けている	名札に理念を記載したカードを入れて携行、詰所の壁に貼り、いつでも確認出来るようにしている 理念に基づいたケアの実践を心掛けている	個々名札に携行し何時でも確認できるようにしている ユニットカンファレンスで協議 理念に基づいたケアを実践している	毎年、施設長から理念に関しての話があったり、理念について何か意見がないか、職員に投げかけが あっている。全職員、名札に理念を記載したカードを携行したり、各ユニットの中に理念を掲げている。 入社時のオリエンテーション時に職員へ向けて理念の研修が実施されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	大きな行事(ツアーツ祭やクリスマス会等)はボランティアの受け入れあり 地域運営推進会議を2か月に1回開催しており、活動内容や情報を伝えている	恒例行事の開催を行い、地域の方の参加もある	恒例行事に地域の方を招き職員の出し物を見ていただいたりゲームに参加していただいたり一緒に楽しんでいる	5月の涼しい時期に「ツアーツ祭」を開催している。地域の太鼓グループの方々が20人～30人来られて太鼓演奏、ラジオパーソナリティーが来られて司会進行されたり、出店を出したりしている。関連事業所も合同で開催しており、地域の方々や利用者、利用者家族等が参加している。地域の掃除や餅つき等の行事の手伝いをしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域運営推進会議を2か月に1回開始しており、活動内容や情報等をお伝えしている	2ヶ月に1回、地域運営推進会議開催している	運営推進会議にて本来のグループホームを理解していただくため、活動内容困難事例に対する説明をし認知症介護の理解が深めるよう努めている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域運営推進会議で参加していただいた地域の方からの情報を取り入れ、外出レクアンケートを実施	2か月に1回開催し、活動等の報告を行い、地域の方との意見交換を行い、サービス向上に取り組んでいる	定期的に開催し、入居者状況や行事報告を行い参加者の地域の活動の意見を聞き、レクレーションなどに活用する	2か月に1回、3ユニット合同で運営推進会議を開催している。利用者家族、法人職員、各ユニット管理者、町内会長、町内副会長、民生委員、地域包括支援センター職員等が参加している。地域の方々が協力的であり、運営推進会議にも概ね参加されている。会議の中で入居者状況や活動報告等している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	不明な点がある時は担当者へ相談 現在生活保護受給者3名おり、定期的に現況報告行っている	不明な点がある時は、担当者へ聞き取りをしている	運営推進会議の案内状を送付 意見交換やアドバイスを求めている	生活保護受給者がいるため、ケースワーカーと必要時連絡を取り合っている。市町村から来たアンケートに回答したり、集団指導の資料を読んで確認している。介護事故が起きた際は、市町村に報告書を送るようにしている。市のおむつサービスの代行申請を実施することもある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を毎月開催、また年2回施設内研修で身体拘束防止について学ぶ機会を持っている	施設内研修で身体拘束・虐待防止について行って、拘束しないケアを実践している 毎月、法令遵守会議にて身体拘束・虐待防止チェック表を使い意見交換している	毎月行う身体拘束廃止委員会や施設内研修を行い、職員間でも意見交換を行い、身体的拘束防止に繋げている	現在、身体拘束を実施している利用者はいない。人感センサーとセンサーマットを利用している利用者がある。センサー利用に関しては口頭で説明し、必要性をケアプランに入れて同意を得ている。「身体拘束ゼロ」を事業所として掲げている。施設長を筆頭に、関連事業所の管理者が集まって、「法令遵守会議」を毎月開催している。「身体拘束等行動制限」についての取扱要領を作成している。	

R6.12自己・外部評価表(事業所名グループホームツアーツーハーツ)確定

自己	外部	項目	自己評価			外部評価	
			実践状況(そよかせ)	実践状況(せせらぎ)	実践状況(こもれび)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	施設内研修で年2回虐待防止について学ぶ機会があり、毎月チェック表を用いてケアの振り返りや事例検討を行っている	施設内研修で定期的に学んでいるユニット内でも毎月の事例検討を行い、防止策を考案するとともに職員のストレスケアに努めている	施設内研修で定期的に学び、ユニット内にて事例検討を行い、意見交換を行うことで防止に努めている		
8	(6)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設内研修で学ぶ機会を得ている 現在1名後見制度を利用しており、医療・生活・金銭面等、相談・報告を行っている	施設内研修やスタッフ間で意見交換することで理解を深めている 使用者家族等から成年後見制度を尋ねられた時にいつでも説明できるようにパンフレットを用意している	内部研修にて理解を深め、スタッフ間で意見交換している	各ユニットに成年後見制度に関してのポスターを掲示している。成年後見制度を利用されている利用者があるため、成年後見人と連携している。年1回、外部講師を招聘して権利擁護に関する研修を実施している。研修に参加できなかった職員には研修資料を配布して、研修内容の周知を図っている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は重要事項説明書を読み上げ、疑問点や不安な点を解決し契約している	契約の際は重要事項説明書・運営規定の読み上げ、説明を行い、理解を得た後、契約していただいている	契約の際は疑問点や不安要素を解決できるように文章を読み上げ説明を行い、理解納得をして頂いている		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や電話連絡時に意見や要望を聞き取り対応している 2か月に1回の地域運営推進会議でも意見をいただいている	面会時や電話連絡時、ご家族の意見・要望を聞き取りを行い対応している	月1回家族様へ手紙にて報告を行い、面会に来られた際にご意見・ご要望の聞き取りを行い対応している	2か月に1回、運営推進会議の開催に合わせて、家族アンケートを実施しており、その結果を運営推進会議の際に発表している。生活の状況が分かるような写真を多めに欲しいと言われる家族には、枚数を増やして差し上げる様に等、家族の意向を極力反映させようと努力している。	
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	グループホーム会議やユニット定例会で意見交換や提案の機会がある 年に1～2回個人面談があり意見を伝える機会がある	グループホーム会議やユニットミーティングの中で意見交換を行い、ツアーツーハーツ運営会議で発表できる機会がある	月1回のグループホーム会議やユニットカンファレンスで意見交換を行っている 年に1～2回個人面談にて意見する機会がある	各ユニットで会議を月1回、グループホーム会議(3ユニット合同)を月1回実施している。各ユニット間での情報交換をする機会を持っている。職員から行事をしたいという希望が出て、3ユニットの意見出し合っ、どのようにしていか検討している。おむつの使用について、利用者によって合うおむつを選定する努力をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務条件や環境改善に関する意見や相談を聞き入れながら環境改善に努めている	個々の勤務状況や実績、資格取得等を把握し、環境改善等要望を聞き入れ安定した給与水準も確認されている	キャリアパス導入面談にて意見要望等聞き取りし、就業環境に対する要望の相談等、整備に努めている		
13	(9)	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようになっている。また事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用にあたって性別や年齢等の制限なし 現在妊娠中の方が1名おり、休みの調整や体調に合わせた働き方に配慮している	採用に際し、年齢や性別等による制限はない 資格を目指す職員に対して休みの調整を行う支援体制がある	年齢や性別等に制限は設けていない 職員協力し、各自の経験や技術を生かし勤務できている	レクリエーションが得意な職員がいて、いつも以上に生き生きと行事を主導して取り組んでいたり、口腔体操を熱心に取り組んで、利用者の前で取り組んでいる。外国人職員に仕事を教えるだけでなく、外国人職員の仕事に対する姿勢を見て学ぶ等、国籍を越えてお互いに良い刺激を受けている。	

R6.12自己・外部評価表(事業所名グループホームツアーツ)確定

自己	外部	項目	自己評価			外部評価	
			実践状況(そよかぜ)	実践状況(せせらぎ)	実践状況(こもれび)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14	(10)	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	定期的に施設内研修に参加し、研修内容をユニット内で共有・意見交換している	施設内研修を行っており、日々入居者の人権が損なわれないよう指導している	施設内研修が行われており、話し合い、職員間にて人権について指導を行っている	年1回、権利擁護に関する研修を実施する際に、人権教育も併せて実施している。研修は外部講師を招聘している。研修に参加できなかった職員には研修資料を配布して、周知を図っている。「法令順守会議」の前に、職員から事前アンケートをとり、言葉遣い、接遇等改善が必要なことについて確認し合っている。	
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に1度の施設内研修の他、不定期にスキルアップの勉強会がある 外部研修は交通費や受講料を法人が負担し参加できる	施設内研修に参加した職員がユニット内で伝達している 外部研修参加補助がある	内部研修が月に1回あり、実践トレーニング出来る機会あり 外部研修について参加補助あり		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者とのネットワーク作りに努め、ネットワーク内の勉強会や外部研修で意見交換を行っている	他の同業者とのネットワーク作りに努め意見交換の場があれば参加し、サービスの質を向上に取り組んでいる	他の同業者のネットワークに参加し、質の向上に努めている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時にご本人の情報をスタッフ間で共有し、入居時よりご本人とコミュニケーションを取りながら安心して生活できるよう努めている	入居前にご本人の情報をスタッフ間で共有し、サービス導入後、望まれている生活に近づけるよう努める	入居前にご本人の情報を共有し、コミュニケーションをとって、不安な気持ちに寄り添いながら、安心して生活出来る居場所作りに努める		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の見学時や契約時に情報収集をし、ご家族の不安な事や要望を聞き取り、入居後も気づきがあれば連絡を取り関係作りに努めている	事前面談で情報収集し、スタッフ間で情報共有し、不安な事や気づきがあればご家族と連絡をとり、信頼関係構築に努めている	契約前よりご家族の意向や思いを聞き取り、不安な事や要望を受け入れ、関係作りに努めている		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に得た情報を元に必要とされる支援を見極め、ケアプランに反映し対応に努めている	入居前の情報収集や事前面談でご本人・ご家族からの要望を取り入れ、必要とされる支援を見極め他のサービス利用も含め、対応が出来るように努めている	入居前の情報収集や事前面談で必要な支援を見極め、本人が安心出来るよう努める		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	声掛けしコミュニケーションをとりながら、ご本人が出来ることをお手伝いしていただいたり、現役時代の話を聞き取ったり関係作りに努めている	日々スタッフが声かけし、しっかりコミュニケーションを取り、ご本人が出来ることはお手伝いしていただいている	コミュニケーションを多くとり、ご本人が出来ることをお手伝い頂き、一緒に行う事で関係を築けるように努めている		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族への手紙や面会時、電話連絡時にご本人の近況報告や要望の聞き取りを行い、情報を共有しながら関係作りに努めている	家族への手紙や面会、電話連絡にて近況報告、要望を聞き取り、ご家族と情報を共有している	家族への手紙や面会時、特変があった際に連絡を行い、情報共有しながら関係作りに努めている		

R6.12自己・外部評価表(事業所名グループホームツアーツ)確定

自己	外部	項目	自己評価			外部評価	
			実践状況(そよかせ)	実践状況(せせらぎ)	実践状況(こもれび)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族・親族との居室面会やご友人との屋外面会・電話での対話を支援している	面会や電話等でスタッフが付き添い支援している	ご家族・親類の方面会にて支援できている ご友人などコロナ対策もあり、面会室などで対応している	家族や親戚の面会は居室内で面会をしていただいているが、知人や友人の面談は面会室やテラスで面会をしていただいている。携帯電話を所持している利用者は、いつでも電話をかけることができる。また、事業所に電話をしていただければ、利用者に取り次ぐようにしている。	
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや茶話会など同じフロアで過ごす時間を確保しスタッフが仲介し関わりを支援している	利用者同士での関わりは難しくスタッフが仲介に入り、発言しやすい工夫をしている	利用者同士での関わり、相性など見守りを行い、支援を行っている		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も相談があれば対応できることも伝え支援に努めている	退居後も相談することが出来ることを伝え、相談があれば対応し、支援できるように努めている	退居後も相談できることを伝え、支援できるように努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
25	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のコミュニケーションを通して、ご本人の希望を把握し対応できるよう努めている	生活の中でのコミュニケーションを通じ、ご本人の思いを把握し、希望に沿った対応が出来るよう努めている	日々の生活の中で、本人の声や行動から思いをくみ取って対応できるよう努めている	利用者に直接意向を確認し、趣味や趣向を意識的に聴き出すようにしている。また、意思疎通が難しい利用者は、家族に意向確認している。利用者が取り組みたい事を把握することで楽しみを提供している。	
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報提供やご本人・ご家族との話を通して生活歴等を把握し、生活環境が急変しないよう努めている	ご家族や本人との会話の中で、生活歴等を把握し、生活環境が急変しないよう支援している	入居前情報で生活歴を把握し生活環境が急変しないよう努めている		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中で本人の心身状態を観察し残存能力を活かした支援を行っている	日々の生活の中で心身状態を観察し、声掛けの方法、個々の能力を把握したうえで支援している	日常生活の中で心身状態を観察し個々の能力を把握したうえでその方に合った支援を行っている		
28	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のカンファレンスでスタッフ間で意見交換をし、医師・理学療法士等からの助言やご本人ご家族の意向を聞き取り介護計画に反映している 定期的なモニタリング実施	月1回ユニット会議でスタッフが意見を出し合い、ご本人や家族の思いを反映しケアプラン作成をしている	モニタリング評価出来ている スタッフ各自意見を出し合い、家族・本人の思い・要望を取り入れ、計画作成を行っている	ケアプランに関して、協力医や理学療法士にも意見をもらってケアプランに反映している。月1回のユニット会議の際に、職員に意見を聴いたり、ユニット会議の前に計画作成担当者からケアプランに関する意見を事前に聴き取って、ユニット会議に諮るようになっている。各ユニットに計画作成担当者を配置している。	

R6.12自己・外部評価表(事業所名グループホームツアーツ)確定

自己	外部	項目	自己評価			外部評価	
			実践状況(そよかせ)	実践状況(せせらぎ)	実践状況(こもれび)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護ソフトを導入し、日々の様子や申し送りを記録し、介護記録・業務日誌と申し送りにて情報共有している 毎月のカンファレンスで計画・見直し・ケアに反映させている	情報の共有は介護記録や申し送りにて行い、毎月のカンファレンスで見直し、計画に取り入れている	介護日誌・申し送り・介護ソフト入力を行い、毎月のカンファレンスで討議し、情報の共有・計画に取り組んでいる		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人・ご家族の要望に応じて訪問歯科や訪問鍼灸等の対応や必要に応じて他科受診の支援を行っている	ご本人やご家族からの要望があれば、リハビリや訪問歯科・訪問鍼灸等の個別対応を行っている 必要があれば専門医の受診の支援を行っている	家族や入居者さんの要望があれば、リハビリ・訪問歯科・訪問鍼灸等、母体の病院、専門医との連携他、個別対応を行っている		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設行事の際に、ボランティアの受け入れを行っている	ボランティアの受け入れはまだ行っていないが、一日も早く再開できるよう支援したい	地域運営推進会議にて地域の方・民生委員・包括支援センターを招き、意見交換、情報提供、行事への参加の声かけ 地域の行事への参加を行っている		
32	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体の病院受診は施設の送迎車を使用 他科受診はご家族の対応が難しい時は施設で対応している 母体の病院とかかりつけ病院での情報共有している	本人・家族の希望があればかかりつけ医の受診を継続し、家族での対応が難しい場合は施設で対応している	家族や本人の希望に沿い、以前よりかかりつけ医の通院を支援している 母体である整形外科医科との連携も常に図られている	母体の医療機関への通院介助や受診の付き添いは事業所職員が実施している。他科受診は、基本的には家族が対応している。ただ、利用者の状態に応じて、事業所が通院介助や受診の付き添いを実施している。在宅で生活をしてきた時の主治医に継続して受診していただくことも可能である。	
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の健康状態を観察し体調不良時や急変時は各ユニットの看護師に報告し対応している	体調不良時や急変時は各ユニットの看護師に報告し、常時連携を取れるような体制を整えている	各ユニットに看護師が配置されており、情報共有しながら常に協力体制がとれるようになっている		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時は看護師または管理者が医師との連携をとりながら医療機関との情報交換を行っている	入退院時は看護師または管理者が医師との連携を取りながら医療機関との情報交換を行い、信頼関係に努めている	入院中は定期的に管理者や看護師が電話にてソーシャルワーカーより情報収集を行っている		
35	(15)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設で終末期を迎えたいと希望があれば説明を行い、医師・ご家族・職員間での話し合いの場を設けている 医療機関との連携をとり対応している	施設で終末期を迎えたいと希望があれば説明を行い、医師・家族・施設職員との話し合いを行っている 最期まで穏やかに過ごされるよう支援している	終末期の支援希望があれば、施設での対応を十分説明し、同意を得て対応している 医療機関の医師への情報提供と医師・家族・スタッフの話し合いの場を設けている	看取り介護の対応をしている。入居時に事業所としての看取り体制の説明して、書面にて同意を得ている。看取り介護に関しては、在宅酸素療法、水分補給目的の点滴、昼夜問わずの吸引が対応できる体制である。「重度化した場合における対応に係る指針」を作成している。	

R6.12自己・外部評価表(事業所名グループホームツアーツ)確定

自己	外部	項目	自己評価			外部評価	
			実践状況(そよかせ)	実践状況(せせらぎ)	実践状況(こもれび)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	施設内研修にて防災センターの講師より緊急時の対応等の講習・訓練を行っている	施設内研修にて防災センターの講師より緊急時の対応や救急蘇生の訓練を受けている	早良区防災センター消防士より講師を招き、救命蘇生法・AEDの使用の講義を演習している		
37	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を実施し消火活動や避難方法を学んでいる 防災マニュアルをわかりやすいところに置いている	年に2回防災訓練を実施 防災マニュアルを置き、消火活動や避難方法を学んでいる 防災マニュアルのシュミレーション・研修を受けている	年2回の防災・避難訓練を行い、消火器の使用の実演やビデオでの地震時の対応など講義を受けている	年2回防災訓練を実施している。消防設備関係の業者が火災や地震に関する研修会を実施しており、職員が参加している。水消火器による消火訓練やAED訓練を実施している。関連事業所への応援体制があったり、職員の緊急連絡網も整備している。	夜間想定訓練を実施してはどうだろうか。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
38	(17)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄・入浴時はプライバシーに配慮し実施している 施設内研修でプライバシーや人権に関する学びを得ている	排泄・入浴時にはプライバシーの確保に気をつけ実施している 施設内研修にてプライバシーに関する研修を受けている 女性職員が良いと希望がある方には希望に添うようにしている	お一人おひとりのプライバシーの尊重については施設内研修のカリキュラムにあり、その方に適した声かけを行い常に尊厳や人格を尊重するように心がけている	排泄介助や入浴介助時は扉を閉めて、プライバシーを確保している。「法令順守会議」の際に、プライバシーに関して確認する場がある。利用者が同性介護を希望される場合は、極力対応しているようにしている。また、他ユニットの応援を求めて同性介護が実施出来ているようにしている。	
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が安心して思いや希望を表せるよう笑顔で本人の状況に合わせた働きかけを行っている	ケアの前に声かけ、思いを聞き、本人の意思を尊重し、思いや希望を表出できる環境づくりをしている	いつでも聞く姿勢で話しやすい環境を作り、言葉に出来ないサインも見逃さず共感する気持ちで接し、自己決定できるよう配慮している		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせたケアを心掛けている 拒否があれば対応を変え柔軟に接するようにしている	お一人おひとりのペースに合わせた余暇時間等を過ごせるよう支援している レクリエーション参加も自由参加で行っている	お一人おひとりのペースに合わせてケアを行っている レクリエーションを無理強いせず表情など見ながら対応 何事も本人様の希望に対応する		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節ごとにご本人が好み衣類を持参していただき着ていただいている 訪問理美容を個々のペースに合わせて実施している	季節ごとに調整し、本人の要望を取り入れながら着て頂いている 理美容も個々のペースに合わせて実施している	ご本人様に衣類を選んでいただくようにしている 訪問理美容で好みのヘアースタイルにされている		
42	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	音楽などを流し落ち着いて食事ができるような環境を整えている 月1回行事食の日がある 食器拭きやおしぼりたたみを手伝っていただいている	食事の時は音楽を流し、落ち着いた環境で召し上げて頂いている 利用者自らコップ拭きなど手伝って頂いている	音楽を聴きながら食事をしている 季節の話などし、家庭的な雰囲気を感じてもらい食事をしている 食器洗いなど自発的にお手伝いして下さる方もいる	同一建物1階に厨房で調理されたものを利用者に提供している。行事に合わせた食事を提供したり、月に数回はご飯だけではなく種類を提供したりしている。おやつ作りをしたり、マグロの解体ショーがあり、見て食べて楽しめるような機会がある。	

R6.12自己・外部評価表(事業所名グループホームツアーツ)確定

自己	外部	項目	自己評価			外部評価	
			実践状況(そよかせ)	実践状況(せせらぎ)	実践状況(こもれび)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせた食事形態で提供している 食事摂取量を記録し、スタッフ間で情報共有している	食事状態の観察を行い、個々に合わせた食事形態で提供している 水分量は必ず配茶下分は飲んでいただくよう、声かけしスタッフ間で情報共有している	食事状態の観察を行い、摂取状況に応じて形態を変えている 水分摂取状況は提供した分を飲めるように声掛けし、スタッフの情報交換を行っている		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、スタッフが見守りや介助にて口腔ケアを行っている 義歯の洗浄も定期的に行っている 訪問歯科を利用できる	毎食後、口腔ケアを行っている 介助が必要な方はスタッフがブラッシングを行っている 必要な方は訪問歯科利用されている	食後に見守り・介助などで口腔ケアを行っている 自力で出来ない方などは、スタッフがブラッシングを行っている 義歯は定期的に洗浄を行っている		
45	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、座位の保てる方は声掛けしトイレ介助を行っている 個々の排泄パターンをチェック表で把握しスタッフ間で共有している	排泄チェック表を活用し、個々の排泄介助をスタッフ間で共有し行っている 座位が保てる方にはトイレでの排泄を促して実施している	医師の指示にて排便コントロールを行っている 排泄表をもとに排尿・排便のタイミングを理解し声掛けを行っている	排泄チェック表を作成して、排尿や排便の間隔の観察をして、職員同士で排泄介助に関しての意見を出し合い介助に役立てている。排泄チェック表を作成する事で、排泄のタイミングを見計らって介助をして失禁が少なくなった事例もある。極力、トイレでの排泄介助をする様にしている。	
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を確認し、排便困難児は医師からの指示のもと緩下剤を使用している 定期的な水分補給とできる運動を予防としている	排泄チェック表を確認し、便秘が3日続いた場合、医師の指示のもと緩下剤の服用、また処置等を行っている	排泄表をもとに個々の排便状態の観察を行い、息の指示により緩下剤の服用又処置を行う 定期的水分補給と運動で予防もしている		
47	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々の体調やタイミングに合わせて声掛けし、入浴拒否がある時は無理せず時間や日にちをずらし対応している	声かけし、拒否があった場合は本人に合わせた対応を行っている	入浴の際、拒否があれば無理せず個々の体調やタイミングに合わせて入浴していただいている	週2回入浴をする機会がある。全ユニット個浴で対応している。個浴での入浴が困難な身体状態になった場合は、関連事業所のストレッチャー浴を利用して入浴介助をしている。本人の好みの洗顔フォームやシャンプーを利用している利用者もいる。浴槽の湯は、利用者が入浴される度に入れ替えている。	
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入眠時間は個別に対応している 日中横になって頂く時間を取っている 希望されない方はフロアにて自由に過ごされている	入眠時間は個々のスタイルに合わせた対応 日中入床されていない方はフロアにてスタッフと談話したり楽しく過ごされるよう支援している	入眠時間は個々の生活スタイルに合わせて対応している 日中臥床していただくよう、声掛けを行っているが、希望されない方はフロアで過ごしていただいている		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報はお薬手帳に貼り、すぐに確認できるようカルテに保管している 服薬時は本人の飲み込みの確認をしている 看護師とともに連携し、症状の変化にも対応している	薬剤情報はスタッフ間で共有し、常時確認できるよう保管している 服薬時は本人の飲み込みの確認をしている 看護師とともに連携し、症状の変化にも対応している	処方内容は常時確認できるように電子カルテに入力している 処方内容・副作用などの情報を看護師からスタッフに伝えられている		
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々のできるお手伝いに対し感謝を伝え、自信ややりがいを持ってもらいたい、レクリエーションや職員との談話などで、楽しみ事、気分転換等支援している	個々の出来ることのお手伝いに対し、お礼、感謝の言葉を伝え、喜び、やりがいを持ってもらいたい、スタッフとの会話も含め、気分転換等の支援を行っている	おひとりお一人出来ることをお手伝いいただき、お礼や感謝の言葉を伝えている。レクリエーションなどで楽しみ事・気分転換の支援、作品を作る事などで皆が参加できるよう支援を行っている		

R6.12自己・外部評価表(事業所名グループホームツアーツ)確定

自己	外部	項目	自己評価			外部評価	
			実践状況(そよかせ)	実践状況(せせらぎ)	実践状況(こもれび)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	(21)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設の周囲を散歩し外気に触れたり、年1~2回送迎車を利用し花見ドライブに行くことで季節を感じていただけるよう支援している	施設の周囲で散歩にて外気浴をしていたり、季節に応じた桜・つつじ・紫陽花等見学に行っている	地域の方から情報をいただき、コスモスなど見学に出かけている 天気の良い暖かい日は散歩を行い、ご家族様と外出される事が出来ている	家族が来られた際に一緒に散歩したり、外気浴をしながら楽しんでいる利用者もいる。中には外泊をする利用者もいて、家族と過ごす時間を持っている。 桜や菜の花、つつじ、紫陽花、コスモス等の見学に行ったり、事業所周辺の散歩をしたり等、外出する機会を持てる様になっている。	コロナ禍で、最近出来ていなかった地域の行事への参加や買い物、外食等外出の機会を持ってみてはどうだろうか。
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を使う意思決定ができる方についてはご家族の了承を得て所持していただき、希望時に職員と自販機で買い物支援をしている	お金を使う意見決定が出来ない方は、希望があれば、ご家族の了解を得て職員が買いに行っている	本人様の希望があれば、ご家族様の了解を得てスタッフが買物を行っている 他、ご家族様より差し入れを頂いている		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人や家族の希望があれば電話で話す支援をしている 届いた手紙があれば一緒に読んだりしている	本人の希望があれば何時でも電話できるよう支援している 携帯電話をお持ちの方もいらっしゃる 手紙やプレゼントが届いた際は一緒に読んだりしている	ご希望あれば、ご家族に電話できるようにしている		
54	(22)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	換気や温度・湿度に充分配慮し清潔を保ち快適な環境づくりに努めている 季節を感じる壁飾りを作成し楽しんでいただいている	窓を開けたりエアコンで空調管理し、温度・湿度・換気に配慮している 季節を感じて頂けるよう、花や壁飾りを作成し、楽しんでいただいている	換気や温度・湿度に充分配慮し、清潔を保ち快適な環境づくりに努めている 季節の花やイベントの壁かざりを入居者様と作成し楽しんで頂いている	トイレや洗面所、テーブル、椅子、ソファ、テレビ等が置いてある。各ユニットには、季節に応じた飾り付けがされており、季節感を味わえる雰囲気となっている。利用者の好きな時代劇を観る等寛げるようにしている。	
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアでは気の合いそうな方同士が近くに出来るよう座席を配置している	フロアでは互いに親しく和やかに過ごせるようにテーブルの座席配置を考えている	フロアでは気の合う方が近くになれる座席配置を行っている 希望でソファに移動されたりとあれば、対応している		
56	(23)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に馴染みの家具や日用品・ご家族の写真など持参していただき安心して過ごせる空間をつくっている	入居時に持参された家具や着衣、ご家族の写真などを飾って慣れ親しんだものに囲まれ安心して過ごせるように環境づくりに努めている	馴染みの家具やご家族の写真を飾って安心して過ごせる空間作りしている 居室の整理はご本人様の意向を伺って行っている	各居室には、介護用ベッド、電灯、エアコンが備え付けられている。また、家族写真、人形の置物、筆筒、賞状等が飾ってあり、馴染みの空間で過ごせるようにしている。部屋が乾燥しないように加湿器を持ちこんだり、好みのカーテンをつけている。	
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室入口・トイレ・浴室等表示を作り、わかりやすいようにしている 手すりを伝って自分のペースで歩いて動けるよう支援している	各居室入口・トイレに表示をつけてわかりやすいようにしている 手すりを伝ってご自分で歩いて行けるよう支援している	居室入口に個々の名札あり トイレや浴室なども表示をつけ、わかりやすいようにしていること、自由で一人で歩き来が出来る支援をしている		